

広報

かみす

2024年

1/15

No.406

Kamisu public relations

特集



神栖ディスカバリー

File 07

書道パフォーマンス

一筆に込めた思い



音楽に合わせ、力強く筆を運ぶ高校生たち。巻頭特集では、中央図書館で行なわれた書道パフォーマンスの様様を紹介しします。(写真は「開幕」を書く波崎高校の立原心胡さん)

Pick up

- 市長・議長から新年のごあいさつ… P2
- 神栖市議会議員一般選挙…………… P8
- 4月からの会計年度任用職員募集 … P12
- スマホでラクラク確定申告…………… P13



広報かみすが動き出す

【COCOAR】アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。詳しくは16ページ



【COCOAR】





特集

書道パフォーマンス

一筆に込めた思い

皆さんは書道パフォーマンスをご存じですか？
音楽に合わせて、みんなで大きな紙に一つの作品を書き上げるパフォーマンスです。今回は、書道の新しい表現に挑む高校生たちの躍動感あふれる姿と熱い思いに迫ります。

中央図書館でのパフォーマンス

お正月は、一年で最も日本の伝統文化を意識する時期。その一つである書道のイメージを「静」から「動」へガラリと変えてしまうのが、書道パフォーマンスです。

去年11月5日、神栖市立中央図書館に市内3つの高校から書道部員が集まりました。神栖高校の生徒たちは新調した黒Tシャツ、波崎高校の生徒たちは袴姿に赤いたすきを掛け、

各々の控え室で裸足になってスタンバイ。展示ホールに設けられた観客席はすぐに満席となり、立ち見をする人も大勢います。

司会を務める波崎柳川高校の大倉弓和さん(3年)の「書道部員たちはこの日のために、たくさん練習を積み重ねてきました。今日



司会の大倉さん



は精一杯のパフォーマンスをお見せできるように頑張りますので、応援よろしくお願いします」というアナウンスを号令に、書道パフォーマンスが始まりました。

目の前で作品が生み出される

最初に登場したのは神栖高校です。明るい曲が流れる中、最初の一文字で早くも会場から拍手が湧き、自然と手拍子が始まって一体感に包まれます。「桜梅桃李」と軽快に筆を運び、最後に完成した作品を掲げると、ひときわ大きな拍手が送られました。続く2作品目は、本間海羽さん(3年)が緑色の大きな「飛」を書く

ところからスタート。「飛躍」の語句は、卒業を控えた本間さんへの感謝と今後の活躍を応援する気持ちを込めて、後輩たちが選んだもの。ちなみに緑色は、3年生の体操服の色。そこにも先輩と後輩の絆が感じられます。

続いて登場した波崎高校の1作品目は、疾走感あふれる曲に合わせて、6人の部員がタイミングを合わせて入れ替わりながら言葉を書き連ねていきます。そして最後に加瀬洗翔さん(2年)が緑色の書道液をたっぷり含ませた大筆をためらいなく紙に打ち込み、豪快に「生きる」と書いて作品を仕上げました。2作品目は、

立原心胡さん(2年)が「開幕」の文字を、いったん逆方向に筆を入れる隷書体の特徴的な「逆筆」という技法を使って力強い線で書き上げていきます。この筆使いも見どころの一つ。

このように、展覧会で作品を鑑賞するときには見ることでできない、作品を生み出す瞬間の書き手の姿と、作品が完成していくプロセスを目の当たりにできるのが、書道パフォーマンスの醍醐味です。

書き手の達成感と観客の感動

作品を書き上げて緊張から解放された生徒たちと、感動の余韻に包ま

れている観客に感想を聞きました。

「練習の成果を発揮できたとし、部員のみならずいつもより楽しそうでした。今日が最後の部活で、高校生活の貴重な思い出ができました」と語る

神栖高校の本間さん。最前



卒業を控えた本間さん

列で見えていたご家族も「ずっと書道を習ってきて、今日が集大成。後輩が増え書道パフォーマンスができて良い経験になったと思います」と優しく見守っていました。これから書道部を引っ張っていく村上舞桜さん(2年)は「先輩が卒業するのは寂しいけれど、これからも一人ひとりの個性を生かせるような作品を作っていきたいと思います」と頼もしく話してくれました。

波崎高校書道部の篠本莉央さん(2年)は「練習のときよりもみんなの動きがスムーズで、美しく作品を仕上げるのができたと感じます。書くときは下を向きがちなので、最初と最後に礼をする時はしっかり観客の皆さんを見て、気持ちを伝えるようにしました。皆さんに喜んでもらえてうれしいです」と笑顔を見せ



①



②



③



④

①大筆を豪快に走らせ桜梅桃李を書き進める ②仲間の筆使いを見守る ③音楽のリズムに合わせながら二人の息もぴったり ④新調した神栖高校の黒Tシャツ

てくれました。また、熱心にビデオ撮影をしていた立原さんのご家族は「高校から書道を始めたのですが、今回初めて大筆を担当することができてよかったです」と感激の面持ちでした。

部員数が2人と少ない波崎柳川高校は、司会や運営で活躍しました。作品は中央図書館に展示されるので、他校の作品と一緒に観賞することができます。室井武さん(1年)の小学2年生の妹さんは、書道パフォーマンス体験に飛び入り参加。感想を聞くと、「面白かったです。大きくなったら書道パフォーマンスをやってみたい」と元気に答えてくれました。



書道パフォーマンス体験に飛び入り参加

神栖高校の練習風景

「自主性を重視し何でも話し合う」生徒たちは、一体どのような練習



【神栖高校】左から小柳葵さん、松尾椿さん、村上舞桜さん、遠藤梨衣さん、本間海羽さん、野口ゆかりさん、河野那奈さん、前川くるみさん

を重ねて書道パフォーマンスを作り上げているのでしょうか？ 3つの高校を訪ねて練習風景を見学しました。神栖高校書道部は、笑顔が絶えない明るい雰囲気。部員の皆さんに、書道パフォーマンスが出来上がるまでの手順を教えてくださいました。「テーマに合う曲を見つけて、その曲調や歌詞から言葉を探り出して書く文字を決めます。次に、文字をどう配置するか設計図のようなものを作り、誰がどの文字をどういう順番で書いていくかを考えて、実際に音



設計図をもとに書きあげた作品



楽を流して書いてみます」

ここまですべて部員同士で話し合っただけで決めるそうです。「一人で書くわけではないので、臨機応変に周りと合わせる事が大切」と話す顧問の加藤氣吹先生。文字のバランス、書くスピード、人が入れ替わるタイミングなど、いろいろなことに神経を張り巡らせて練習を重ねていました。



加藤先生

波崎高校の練習風景

「コミュニケーションを楽しむ」波崎高校書道部は、みんな元気いっぱい。和気あいあいと会話する様子から、チームワークの良さが伝わってきます。部員の皆さんに、書道パフォーマンスの難しさと楽しさについて聞きました。「立って移動しながら、しかも音楽に合わせて書くというのは、普段の書道では絶対やらないことばかり。みんなでタイミングを合わせて、バランスを取って書いていくのは大変です。でも練習を重ねると息が合ってきて、みんなの文字がバチッとそろって完成したときは達成感があります。一番大切なのは、互いを尊重し合っただけで行動すること。普通の書道は一人で黙々と書く、孤独な戦いですが、書道パフォーマンスではコミュニケーションをとりながら書く楽しさを学びました」

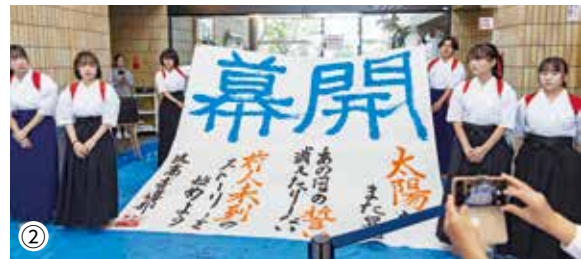
顧問の鈴木麻由先生は「仲間と協力し合っただけの成し遂げる一体感」、井口明美先生は「作品だ



井口先生、鈴木先生



①



②



③

【波崎高校】①左から篠本莉央さん、加瀬光翔さん、立原心胡さん、奥田未羽さん、網中遥さん、津久浦碧さん ②温かい拍手に包まれる ③鈴木先生から指導を受ける生徒たち

波崎柳川高校の練習風景

「思いを込めて創造する」

けでなく書き手が主役になるので、貴重な自己表現の場」と魅力を語ってくれました。

波崎柳川高校書道部は、少人数でほのぼのとした雰囲気です。一年の前半は全国高等学校総合文化祭に向けた作品制作、後半は書道パフォーマンスの練習にあてています。二人が入部したきっかけは、中学生のときに波崎柳川高校の書道パフォーマンスや書道作品を見て、その迫力に圧倒されたこと。当時波崎柳川高校では、中学校に向いて学校紹介をする際に、書道パフォーマンスを披露していたそうで、今でもその作品が出身中学校の図書室に展示されているとのこと。

顧問の塙安沙菜先生は、習字と書道の違いについて「習字の目的は正しく字を書くことですが、書道は古典の臨書や創作で芸術性を求められるところが一番の違い



「挑戦」を繰り返し練習



【波崎柳川高校】左から室井武さん、大倉弓和さん

い」と教えてくれました。今回、展示用の作品に込めた思いを部員の大倉さん・室井さんは、「これからの長い人生で挑戦することがたくさんあると思うから」「小さい頃からチャレンジ（挑戦）という言葉に動かされてきた」とそれぞれ話してくれました。言葉の意味を深く掘り下げて作品を



塙先生

創造しようと取り組んでいます。

まず一度、観賞のススめ

高校生たちの書道パフォーマンスは、国際交流のイベント、地区のお祭りなどで披露されています。一度見ていただければ、その迫力に感動し、体全体を使って書く姿から、そして書き上げられた文字から、いろいろなことを感じ取ることができると思います。機会があればぜひ観賞し、拍手や手拍子を送ってください。日本文化である書道への印象が、これまでになく身近でワクワクするものへと変わることでしょう。

作品は1月14日(日)まで中央図書館で展示中

